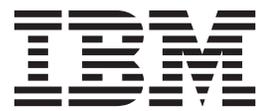


IBM Contact Optimization

バージョン9 リリース0

2013 年 1 月 15 日

リリース・ノート



お願い

本書および本書で紹介する製品をご使用になる前に、11 ページの『特記事項』に記載されている情報をお読みください。

本書は、IBM Contact Optimization バージョン 9、リリース 0、モディフィケーション 0、および新しい版で明記されていない限り、以降のすべてのリリースおよびモディフィケーションに適用されます。

お客様の環境によっては、資料中の円記号がバックスラッシュと表示されたり、バックスラッシュが円記号と表示されたりする場合があります。

原典： IBM Contact Optimization
Version 9 Release 0
January 15, 2013
Release Notes

発行： 日本アイ・ビー・エム株式会社

担当： トランスレーション・サービス・センター

第1刷 2013.1

© Copyright IBM Corporation 2003, 2013.

目次

システム要件と互換性	1	IBM 技術サポートへの連絡	9
バージョン 9.0.0 の新機能および変更点	1	特記事項	11
複数のブラウザ・ウィンドウでの Campaign の 使用	2	商標	13
修正された問題	3	プライバシー・ポリシーおよび利用条件の考慮事項	13
既知の問題	3		
既知の制限	6		

システム要件と互換性

このセクションでは、IBM® Contact Optimization の今回のリリースについて以下の情報が提供されます。

- システム要件および互換性情報をどこで入手できるか
- サード・パーティーのソフトウェアへのサポートの変更点

Contact Optimization は、IBM EMM スイート製品の一部として作動します。

Contact Optimization バージョン 9.0.0 には Campaign 9.0.0 が必要です。

Contact Optimization バージョン 8.5 以降から Contact Optimization 9.0.0 にアップグレードできます。手順については、「*IBM Contact Optimization インストール・ガイド*」を参照してください。

実稼働インストール済み環境の場合、Contact Optimization は 64 ビットのオペレーティング・システムのみをサポートします。

完全なシステム要件と互換性情報が見つかる場所

この製品と互換性のある IBM EMM 製品のバージョンのリストおよびこの製品に対するサード・パーティー要件のリストについては、「*推奨されるソフトウェア環境と最小システム要件*」という文書を参照してください。この文書は、IBM サポート・ポータル Web サイト (<http://support.ibm.com>) の『*詳細なシステム要件 (Detailed System Requirements)*』の下に掲載されています。

注：サポート・ポータルから IBM EMM の文書にアクセスするには、IBM アカウントでログインする必要があります。このアカウントは、ご使用の IBM お客様番号に結び付けられている必要があります。アカウントの IBM お客様番号との関連についての詳細は、サポート・ポータルの「**サポート・リソース**」 > 「**ライセンス付きソフトウェア・サポート**」を参照してください。

IBM EMM にログインした後、「ヘルプ」 > 「製品資料」を選択することによって、この文書にアクセスすることもできます。

バージョン 9.0.0 の新機能および変更点

IBM Contact Optimization のバージョン 9.0.0 で以下の新機能および変更が導入されました。

IBM Unica® Optimize の名前変更

IBM Unica Optimize は、現在は IBM Contact Optimization と呼ばれています。

デフォルトのインストール・ディレクトリーは ContactOptimization に名前が変更されました。

Optimize セッションは、現在は Contact Optimization セッションとラベル付けされています。

ContinueOnGenerationLoopError

新しい構成プロパティ `ContinueOnGenerationLoopError` があります。「生成ループはスラック変数および余剰変数をすべて除去できませんでした (The generation loop was unable to eliminate all slack and surplus variables)」エラーを受け取る場合、`ContinueOnGenerationLoopError` を使用して、Contact Optimization セッションを続行できます。詳しくは、「*IBM Contact Optimization* トラブルシューティング・ガイド」を参照してください。

フローチャートの変更

IBM Campaign フローチャート・ワークスペースを再設計して、ルック・アンド・フィールドを変更し、ユーザビリティを改善します。

現在、フレームワークは Active-X の代わりに Dojo コンポーネントに基づいています。

再設計には、フローチャートおよびレポート・コンポーネント (ツールバー、ダイアログ・ボックス、進捗状況インジケータ、および関連するコントロールを含む) の外観への変更が含まれます。全体的な機能は変更されていません。ただし、いくつかのマイナー機能は異なっています。詳しくは、「*IBM Campaign* リリース・ノート」および「*IBM Campaign* ユーザーズ・ガイド」を参照してください。

ロシア語の言語サポート

ロシア語がサポートされるようになりました。ロケール設定については、「*IBM Marketing Platform* 管理者ガイド」を参照してください。

複数のブラウザー・ウィンドウでの Campaign の使用

IBM Campaign 9.0.0 で複数のブラウザー・ウィンドウを使用するには、「ファイル」>「新規セッション」を使用して、追加の Internet Explorer ウィンドウを開く必要があります。

Internet Explorer 9.0 は、IBM Campaign 9.0.0 のフローチャートで唯一サポートされているブラウザーです。また、Internet Explorer 9.0 は Windows Vista または Windows 7 クライアントでのみサポートされています。

Campaign に複数回ログインして、横並びで情報を表示する場合、以下の方法を使用して複数のブラウザー・セッションを開く必要があります。

重要: 他の方法を使用して、複数のブラウザー・セッションを開かないでください。例えば、Internet Explorer で新規タブを使用することや、「スタート」メニューまたはデスクトップ・アイコンから別のブラウザー・セッションを開くこと、および Internet Explorer で「ファイル」>「新しいウィンドウ」を使用することのないようにしてください。これらの方法を使用する場合、IBM Campaign は新規ブラウザー・インスタンスを同じブラウザー・セッションとして処理します。これらの方法を使用すると、アプリケーションに表示された情報を混同するか、破損する可能性があります。

1. 「スタート」メニューまたはデスクトップ・アイコンから Internet Explorer 9 を開きます。
2. Campaign にログインします。
3. ステップ 1 で開いたブラウザー・ウィンドウで、Internet Explorer のメニュー・バーの「ファイル」>「新規セッション」を選択します。

Internet Explorer の新規インスタンスが開きます。

4. 新規ブラウザー・ウィンドウで、同じユーザーまたは異なるユーザーとして Campaign にログインします。

要確認: ブラウザーまたはツールバーなどのブラウザーのアドオンで、ポップアップ・ブロッカーを無効にする必要があります。ポップアップ・ブロッカーは、フローチャート・ウィンドウが開くのを妨げます。

修正された問題

このセクションでは、IBM Contact Optimization バージョン 9.0.0 で修正された問題をリストしています。問題は、問題番号、そしてインシデント番号 (当てはまる場合) の順に並んでいます。

問題 ID	説明
DEF063320	中国語、日本語、および韓国語のロケールでは「最適化セッション一覧」タイトルの上部 3 分の 1 が切り捨てられていました。
RTC11540, PMR47204	AIX® 上の FEC Min/Max ルールによる Optimize サーバーの異常終了

既知の問題

このセクションでは、Contact Optimization 9.0.0 における既知の問題をリストします。

問題	問題 ID	説明
マルチバイトのオーディエンス・レベル名を使用すると Contact Optimization セッションの作成は失敗する。	DEF023178	マルチバイト文字を使用する非英語言語がオーディエンス・レベル名に使用された場合、Contact Optimization はそのオーディエンス・レベルを含む Contact Optimization セッションを作成することに失敗します。この問題を回避するには、オーディエンス・レベル名に英語か 1 バイト文字セットを使用してください。
マップされていないセグメントのメンバーシップ・テーブルに対する「セグメントの作成 (Create Segment)」プロセスの実行は Contact Optimization セッションの結果に影響する。	DEF050437	オーディエンス・レベルのシステム・テーブルをセグメントのメンバーシップ・テーブルにマップしていない場合、テーブルに対して「セグメントの作成」プロセスを実行すると、システム・テーブルは設定されますが、セグメント・メンバーシップ・テーブルは設定されません。結果的に不正確な最適化結果となります。システムおよびセグメントのメンバーシップ・テーブルを後でマップした場合、「セグメントの作成」プロセスを再実行する必要があります。

問題	問題 ID	説明
ACOOptAdmin ユーティリティーのエラー・メッセージが非英語のロケールに従って表示されない。	DEF051284	英語以外のロケールで ACOOptAdmin コマンド・ライン・ユーティリティーを実行するとき、指定されたロケールに従ったエラー・メッセージが表示されません。エラー・メッセージは英語でのみ表示されます。
Campaign リスナーによって使用されるのと同じ非英語ロケールを Contact Optimization リスナーは自動的に使用しない。	DEF051876	<p>非英語のロケールを使用してインストールされた Campaign および Contact Optimization のインストール済み環境では、Contact Optimization リスナーは常にインストールされたロケールではなく英語で開始します。</p> <p>この問題を回避するには、Contact Optimization リスナーを開始するために使用したコマンド・ウィンドウまたはバッチ・ファイル (ACOServer.bat または ACOServer.sh) で、set LANG=xx_XX を使用して以下のように設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ブラジル・ポルトガル語 - pt_BR • フランス語 - fr_FR • ドイツ語 - de_DE • イタリア語 - it_IT • 日本語 - ja_JP • 韓国語 - ko_KR • 中国語 (簡体字) - zh_CN • スペイン語 - es_ES <p>UNIX システムでは以下のコマンドを使用します。</p> <pre>LANG=xx_XX export LANG</pre>
NoClassDefFoundError エラーによって ACOOptAdmin が失敗する	DEF054145	<p>Contact Optimization がインストールされているパスに、スペースがあるディレクトリー名が含まれている場合、ACOOptAdmin を実行することはできません。</p> <p>回避策 - ACOOptAdmin.bat で、二重引用符を使って変数 OPTIMIZE_HOME および JAVA_HOME の値を指定します。</p>
特定の非 ASCII のユーザー資格情報を使用すると Contact Optimization セッション実行の開始に失敗する。	DEF054275	<p>Marketing Platform ユーザー名またはパスワードに Euro (€) 記号が含まれている場合、Contact Optimization セッションは開始に失敗します。この動作は UNIX プラットフォームだけで生じます。</p> <p>回避策 - Marketing Platform ユーザー名およびパスワードにユーロ記号を使用しないでください。</p>
unprocessables_sessionid.csv にオファーを受けた顧客が含まれている可能性がある。	DEF054841	一部のシナリオでは、オファーを受けた少数の顧客が unprocessables_sessionid.csv ファイルに含まれている可能性があります。
TRYING TO REMOVE STALE PROPOSED RECORDS FROM PCT エラーで Contact Optimization セッションが失敗する。	DEF057685、 INC62199	一部のシナリオでは、Contact Optimization セッションは既存の PCT にインデックスを作成しようとしています。

問題	問題 ID	説明
特定の環境ではカスタム・キャパシティー・ルール最適化の結果が不正確である。	DEF058362	以下の基準を満たす顧客は、受け取るオファーが希望していたよりも少なくなる場合があります。 <ul style="list-style-type: none"> 顧客の推奨トランザクションが偶数である。 これらの各トランザクションは同じスコアである。 このスコアは低い値である。
いくつかのラベルが、日本語、中国語、および韓国語で正しく表示されない。	DEF059595	いくつかの翻訳されたラベルが正しく表示されていません。例えば、スコア行列を手動で編集した場合、テーブルの右側の垂直ラベルは逆さまに表示されます。また、「セグメント内の顧客」を含む最適化ルールの場合、「セグメント」ラベルは 2 行に表示されます。
「オファー・フィルタリング・サマリー」レポートで、各カスタム・キャパシティー・ルールによって削除される推奨コンタクト数が不正確に表示される。	DEF059805	この Contact Optimization セッションの参加フローチャートに複数のコンタクト日付および異なるチャネルの各顧客に対する複数のオファーが含まれている場合、「オファー・サマリー」レポートでカスタム・キャパシティー・ルールの「このルールにより除外」列には不正確な数が表示されます。
競合ルールが存在する場合に Contact Optimization セッションは失敗する。	DEF060267	Contact Optimization セッションで競合ルールを作成すると、警告が表示されることなくセッションは失敗します。ログ・ファイルにのみ「(9232) [E] [INTERFACE] ERROR: 生成ループはスラック変数および余剰変数をすべて除去できません。CODE 999: 拡張エラー ((9232) [E] [INTERFACE] ERROR: The generation loop was unable to eliminate all slack and surplus variables: CODE 999: Extended Error)」と通知されます。
オファー・バージョンの照会ビルダーの問題。	DEF060676	オファー・バージョンの照会ビルダーに以下の小さい問題があります。 <ul style="list-style-type: none"> 選択ボックスのフォーム要素タイプを持つカスタム属性の場合、オファー・バージョンの照会ビルダーは選択ボックスを使用しません。値を手動で入力する必要があります。 グループ・レベルが削除された場合、サブグループの条件が親の条件に追加されます (逆もまた同様)。 ストリング変数用にすべての算術演算子が表示されていますが、適用されるのは「等しい」と「等しくない」だけです。 条件の入力の際に、属性の定義された長さは検証されません。
日付を含んだオファー・バージョン・ルールは予期した最適化結果を提供しない。	DEF061554	日付を含んだオファー・バージョン条件を作成した場合 (例えば、オファー・パラメーター「valid end date」が「2011/12/31」に等しい) に、Contact Optimization は予期した結果を戻しません。
「レスポンス応答 XML にはデータ xml 要素が欠落しています (Response XML is missing the data xml element)」というエラーにより Contact Optimization セッション実行が失敗する。	DEF061116	このエラーを受け取った場合は、テクニカル・サポートにお問い合わせください。また、分析のために Contact Optimization サーバーのログも送ってください。

問題	問題 ID	説明
暦年をまたがるルール例外は不正確な結果になる。	DEF061639	暦年をまたがる (例えば、2011/07/01 から 2012/06/30) 「最小/最大オファー数」 キャパシティー・ルールのルール例外を作成した場合、Contact Optimization は予期した結果を返しません。

既知の制限

このセクションでは Contact Optimization 9.0.0 の既知の制限のリストを示します。

問題	番号	説明
負のスコアは不正確なルールのクレジットの原因となる。		負のスコアを使用した場合、「オファー・フィルタリング・サマリー」レポートのルールのクレジットは正確でない場合があります。 負のスコアを使用したオファーは、最小要件を満たすためにだけに指定されます。
オファーの割り当てがある TCS にリンクしているセルは Optimize プロセスに表示されない。	DEF027481、 DEF061355	Optimize プロセスが 1 つ以上のセルに接続され、その後アップストリーム・セルがターゲット・セル・スプレッドシートのプロセス (TCS) で定義されているトップダウン・セルにリンクされる場合、TCS に割り当てられているオファーは Optimize プロセスに自動的に表示されません。TCS にある任意のトップダウン・セルにリンクしてから、それらのセルを Optimize プロセスに接続してください。それ以外の場合、Optimize プロセス内の同じオファーを手動で割り当てるか、または Optimize プロセスを削除した後に再作成する必要があります。
不在インストールによってインストーラー・プロパティ・ファイルが消去される。	DEF042448	IBM EMM インストーラーを不在モードで実行すると、インストーラー・プロパティ・ファイルは削除されます。IBM EMM インストーラーを不在モードで初めて実行する前に、IBM EMM インストール・ディレクトリーの下に .properties ファイルのすべてのバックアップ・コピーを作成します。インストーラーを不在モードで実行するたびに、.properties ファイルをリストアします。
片方向 SSL で ACOOptAdmin ユーティリティーを実行するにはさらにセットアップが必要。	DEF046832	セキュリティ証明書を登録し、ホスト名およびドメインを指定し、ACOOptAdmin.bat ファイルで SSL_Options を構成しないと、ACOOptAdmin ユーティリティーを片方向 SSL で使用することはできません。
チャンネルは必須オファー属性。	DEF051136	IBM Contact Optimization 内の最適化されたオファーはすべてチャンネル・オファー属性を含んでいる必要があります (例えば、IBM Campaign で使用されるオファー・テンプレートすべては「channel」オファー属性を含んでいる必要があります)。チャンネルは非表示のオファー属性にできます (選択した場合)。オファー・テンプレート属性の設定について詳しくは、「IBM Campaign 管理者ガイド」を参照してください。

問題	番号	説明
ロギング・レベルを「ALL」に設定すると、Contact Optimization セッションのパフォーマンスが低下する。	DEF054539	ロギング・レベルを「ALL」に設定すると、ログ・ファイルに書き込まれるデータの容量が大きくなるため、Contact Optimization セッションを実行するのにかかる時間が長くなります。ロギング・レベルを「ALL」に設定するのは、予期しない結果や他のエラーの原因を判別しようとする場合のみにしてください。
unica_acosvr プロセスが停止した場合に最初の試行でセッションを実行することができない	DEF055010	kill コマンドを使用して unica_acosvr を停止して、次に Contact Optimization セッションを実行しようとした場合、「IBM Optimize サーバー・プロセスで不明な通信障害が発生しました (An unknown communication failure has occurred with the IBM Optimize server process)」というエラーで失敗する可能性があります。 回避策 - Contact Optimization セッションを再度実行して正常に完了させてください。
Contact Optimization セッションの開始と停止を繰り返すと、セッションの停止または Contact Optimization サーバー・プロセスの異常終了の原因となる可能性がある。	DEF057799	Contact Optimization UI を使用し、次に ACOOptAdmin ユーティリティを使用し、再度 UI を使用して Contact Optimization セッションを幾度も開始および停止した場合、セッション実行が停止するか、Contact Optimization サーバー・プロセスが異常終了する可能性があります。この動作は常に再現可能ではありませんが、Solaris で見られます。
スコアがゼロに等しい顧客は「最小/最大オファー数」キャパシティー・ルールから削除される	DEF060320、INC68786	Contact Optimization セッションでゼロに等しいスコアを使用しないでください。

IBM 技術サポートへの連絡

文書を参照しても解決できない問題があるなら、指定されているサポート窓口を通じて IBM 技術サポートに電話することができます。このセクションの情報を使用するなら、首尾よく効率的に問題を解決することができます。

サポート窓口が指定されていない場合は、IBM 管理者にお問い合わせください。

収集する情報

IBM 技術サポートに連絡する前に、以下の情報を収集しておいてください。

- 問題の性質の要旨。
- 問題発生時に表示されるエラー・メッセージの詳細な記録。
- 問題を再現するための詳しい手順。
- 関連するログ・ファイル、セッション・ファイル、構成ファイル、およびデータ・ファイル。
- 「システム情報」の説明に従って入手した製品およびシステム環境に関する情報。

システム情報

IBM 技術サポートに電話すると、実際の環境に関する情報について尋ねられることがあります。

問題が発生してもログインは可能である場合、情報の大部分は「バージョン情報」ページで入手できます。そのページには、インストールされている IBM のアプリケーションに関する情報が表示されます。

「バージョン情報」ページは、「ヘルプ」>「バージョン情報」を選択することにより表示できます。「バージョン情報」ページを表示できない場合、どの IBM アプリケーションについても、そのインストール・ディレクトリーの下にある version.txt ファイルを表示することにより、各アプリケーションのバージョン番号を入手できます。

IBM 技術サポートのコンタクト情報

IBM 技術サポートとの連絡を取る方法については、IBM 製品技術サポートの Web サイト (http://www-947.ibm.com/support/entry/portal/open_service_request) を参照してください。

特記事項

本書は米国 IBM が提供する製品およびサービスについて作成したものです。

本書に記載の製品、サービス、または機能が日本においては提供されていない場合があります。日本で利用可能な製品、サービス、および機能については、日本 IBM の営業担当員にお尋ねください。本書で IBM 製品、プログラム、またはサービスに言及していても、その IBM 製品、プログラム、またはサービスのみが使用可能であることを意味するものではありません。これらに代えて、IBM の知的所有権を侵害することのない、機能的に同等の製品、プログラム、またはサービスを使用することができます。ただし、IBM 以外の製品とプログラムの操作またはサービスの評価および検証は、お客様の責任で行っていただきます。

IBM は、本書に記載されている内容に関して特許権 (特許出願中のものを含む) を保有している場合があります。本書の提供は、お客様にこれらの特許権について実施権を許諾することを意味するものではありません。実施権についてのお問い合わせは、書面にて下記宛先にお送りください。

〒103-8510
東京都中央区日本橋箱崎町19番21号
日本アイ・ビー・エム株式会社
法務・知的財産
知的財産権ライセンス渉外

以下の保証は、国または地域の法律に沿わない場合は、適用されません。IBM およびその直接または間接の子会社は、本書を特定物として現存するままの状態を提供し、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が禁じられる場合、強行規定の制限を受けるものとします。

この情報には、技術的に不適切な記述や誤植を含む場合があります。本書は定期的に見直され、必要な変更は本書の次版に組み込まれます。IBM は予告なしに、随時、この文書に記載されている製品またはプログラムに対して、改良または変更を行うことがあります。

本書において IBM 以外の Web サイトに言及している場合がありますが、便宜のため記載しただけであり、決してそれらの Web サイトを推奨するものではありません。それらの Web サイトにある資料は、この IBM 製品の資料の一部ではありません。それらの Web サイトは、お客様の責任でご使用ください。

IBM は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなんら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。

本プログラムのライセンス保持者で、(i) 独自に作成したプログラムとその他のプログラム (本プログラムを含む) との間での情報交換、および (ii) 交換された情報の相互利用を可能にすることを目的として、本プログラムに関する情報を必要とする方は、下記に連絡してください。

IBM Corporation
170 Tracer Lane
Waltham, MA 02451
U.S.A.

本プログラムに関する上記の情報は、適切な使用条件の下で使用することができますが、有償の場合もあります。

本書で説明されているライセンス・プログラムまたはその他のライセンス資料は、IBM 所定のプログラム契約の契約条項、IBM プログラムのご使用条件、またはそれと同等の条項に基づいて、IBM より提供されます。

この文書に含まれるいかなるパフォーマンス・データも、管理環境下で決定されたものです。そのため、他の操作環境で得られた結果は、異なる可能性があります。一部の測定が、開発レベルのシステムで行われた可能性があります。その測定値が、一般に利用可能なシステムのものと同じである保証はありません。さらに、一部の測定値が、推定値である可能性があります。実際の結果は、異なる可能性があります。お客様は、お客様の特定の環境に適したデータを確かめる必要があります。

IBM 以外の製品に関する情報は、その製品の供給者、出版物、もしくはその他の公に利用可能なソースから入手したものです。IBM は、それらの製品のテストは行っておりません。したがって、他社製品に関する実行性、互換性、またはその他の要求については確認できません。IBM 以外の製品の性能に関する質問は、それらの製品の供給者をお願いします。

IBM の将来の方向または意向に関する記述については、予告なしに変更または撤回される場合があります、単に目標を示しているものです。

表示されている IBM の価格は IBM が小売り価格として提示しているもので、現行価格であり、通知なしに変更されるものです。卸価格は、異なる場合があります。

本書には、日常の業務処理で用いられるデータや報告書の例が含まれています。より具体性を与えるために、それらの例には、個人、企業、ブランド、あるいは製品などの名前が含まれている場合があります。これらの名称はすべて架空のものであり、名称や住所が類似する企業が実在しているとしても、それは偶然にすぎません。

著作権使用許諾:

本書には、様々なオペレーティング・プラットフォームでのプログラミング手法を例示するサンプル・アプリケーション・プログラムがソース言語で掲載されています。お客様は、サンプル・プログラムが書かれているオペレーティング・プラットフォームのアプリケーション・プログラミング・インターフェースに準拠したアプリケーション・プログラムの開発、使用、販売、配布を目的として、いかなる形式においても、IBM に対価を支払うことなくこれを複製し、改変し、配布することができます。

できます。このサンプル・プログラムは、あらゆる条件下における完全なテストを経ていません。従って IBM は、これらのサンプル・プログラムについて信頼性、利便性もしくは機能性があることをほのめかしたり、保証することはできません。これらのサンプル・プログラムは特定物として現存するままの状態を提供されるものであり、いかなる保証も提供されません。IBM は、お客様の当該サンプル・プログラムの使用から生ずるいかなる損害に対しても一切の責任を負いません。

この情報をソフトコピーでご覧になっている場合は、写真やカラーの図表は表示されない場合があります。

商標

IBM、IBM ロゴ、および ibm.com は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corporation の商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれ IBM または各社の商標である場合があります。現時点での IBM の商標リストについては、www.ibm.com/legal/copytrade.shtml をご覧ください。

プライバシー・ポリシーおよび利用条件の考慮事項

サービス・ソリューションとしてのソフトウェアも含めた IBM ソフトウェア製品（「ソフトウェア・オファリング」）では、製品の使用に関する情報の収集、エンド・ユーザーの使用感の向上、エンド・ユーザーとの対話またはその他の目的のために、Cookie はじめさまざまなテクノロジーを使用することがあります。Cookie とは Web サイトからお客様のブラウザに送信できるデータで、お客様のコンピューターを識別するタグとしてそのコンピューターに保存されることがあります。多くの場合、これらの Cookie により個人情報が収集されることはありません。ご使用の「ソフトウェア・オファリング」が、これらの Cookie およびそれに類するテクノロジーを通じてお客様による個人情報の収集を可能にする場合、以下の具体的な事項を確認ください。

このソフトウェア・オファリングは、展開される構成に応じて、セッション管理、お客様の利便性の向上、または利用の追跡または機能上の目的のために、それぞれのお客様のユーザー名、およびその他の個人情報を、セッションごとの Cookie および持続的な Cookie を使用して収集する場合があります。これらの Cookie は無効にできますが、その場合、これらを有効にした場合の機能を活用することはできません。

Cookie およびこれに類するテクノロジーによる個人情報の収集は、各国の適用法令等による制限を受けます。この「ソフトウェア・オファリング」が Cookie およびさまざまなテクノロジーを使用してエンド・ユーザーから個人情報を収集する機能を提供する場合、お客様は、個人情報を収集するにあたって適用される法律、ガイドライン等を遵守する必要があります。これには、エンドユーザーへの通知や同意取得の要求も含まれますがそれらには限られません。

お客様は、IBM の使用にあたり、(1) IBM およびお客様のデータ収集と使用に関する方針へのリンクを含む、お客様の Web サイト利用条件（例えば、プライバシー・ポリシー）への明確なリンクを提供すること、(2) IBM がお客様に代わり閲覧者のコンピューターに、Cookie およびクリア GIF または Web ビーコンを配置することを通知すること、ならびにこれらのテクノロジーの目的について説明すること、

および (3) 法律で求められる範囲において、お客様または IBM が Web サイトへの閲覧者の装置に Cookie およびクリア GIF または Web ビーコンを配置する前に、閲覧者から合意を取り付けること、とします。

このような目的での Cookie を含むさまざまなテクノロジーの使用については、IBM の『IBM オンラインでのプライバシー・ステートメント』(<http://www.ibm.com/privacy/details/jp/ja/>) の『クッキー、ウェブ・ビーコン、その他のテクノロジー』を参照してください。



Printed in Japan